

平成24年度 第4回 経営協議会 議事要録

日時：平成25年1月21日（月）15：05～16：50

場所：事務局1号館2階 会議室

（構成員） 学長，蟻川，工藤，小畑，庄山，関，土井，中島，橋本，理事・副学長(企画・人事担当)，理事・副学長(教育・国際担当)，理事・副学長(研究担当)，理事・副学長(財務・広報担当)，圓川，広瀬の各委員，事務局長

(構成員以外) 清水監事，鈴木監事，植松副学長，丸山副学長，大学院理工学研究科理学系長，大学院生命理工学研究科長，大学院総合理工学研究科長，大学院情報理工学研究科長，大学院社会理工学研究科長，大学院イノベーションマネジメント研究科長事務取扱，資源化学研究所長，精密工学研究所長，応用セラミックス研究所長，原子炉工学研究所長，附属図書館長，センター長会議主査，附属科学技術高等学校長，技術部長，関係部課長・事務長

資料

1. 国立大学法人東京工業大学の中期計画新旧対照表（案）
2. 平成24年度東京工業大学修正予算案について
3. 平成25年度予算編成方針（案）
- 4-1. 国立大学法人東京工業大学職員退職手当規則の一部改正について
- 4-2. 国立大学法人東京工業大学役員退職手当規則の一部改正について
5. 学内規則等の改正における手続きの簡素化について
6. 学長補佐室及びアドバイザーボードの設置について
7. 国立大学のミッションの再定義について
8. センターの設置について
9. 平成24年度補正予算(第1号)における対象予定事業について<中間報告>
10. 東工大基金における募金状況について
11. 東京工業大学ホームカミングデイ2013について
- 12-1. 大岡山石川台1号館で発生した火災について（概要）
- 12-2. 実験等による火災について（注意喚起）
13. 大学改革について

○ 平成24年度第3回経営協議会議事要録（案）の承認

○ 審議事項

1. 第2期中期計画の変更について

岡田理事・副学長から，資料1に基づき，世界トップレベル研究拠点に採択された「地球生命研究所」の研究実施体制等の整備を行うため，第2期中期計画を変更することについて説明があり，審議の結果，これを了承した。

2. 平成24年度修正予算案について

大谷理事・副学長から，資料2に基づき，本修正予算案について説明があり，審議の結果，これを了承した。

3. 平成25年度予算編成方針について

大谷理事・副学長から、資料3に基づき、本編成方針案について説明があり、審議の結果、これを了承した。

4. 国立大学法人東京工業大学職員退職手当規則及び役員退職手当規則の一部改正について

岡田理事・副学長から、資料4-1及び4-2に基づき、本規則の一部改正については昨年12月に書面審議を行い、国家公務員退職手当法の施行日（平成25年1月1日）に施行することとして了承済であるが、規則改正案提示から施行日までの期間が短いこと及び職員組合からの労使交渉の申し入れ等を勘案して当初予定の施行日を延期し、職員組合と2回目の労使交渉を行い、2月1日付で施行することとしたことについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

5. 学内規則等の改正における手続きの簡素化について

事務局長から、資料5に基づき、会議の実質化の一環として、学内規則等の改正における手続きを簡素化することについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

○ 報告事項

1. 学長補佐室及びアドバイザーボードの設置について

学長から、資料6に基づき、学長補佐室及び学長アドバイザーボードを設置したことについて報告があった。

（主な意見等）

- ・ 大学改革を行うにあたっては、学長のリーダーシップとともに、ボトムアップも考慮する必要がある。

2. 国立大学のミッションの再定義について

岡田理事・副学長から、資料7に基づき、国立大学のミッションの再定義について、これまでの検討状況等について説明があった。

3. センターの設置について

岡田理事・副学長から、資料8に基づき、元素戦略研究センター及び地球生命研究所を設置したことについて報告があった。

4. 平成24年度補正予算（第1号）における対象予定事業について〈中間報告〉

大谷理事・副学長から、資料9に基づき、平成24年度補正予算（第1号）における対象予定事業についての中間報告があった。

5. 東工大基金における募金状況について

岡田理事・副学長から、資料10に基づき、東工大130事業の募金状況について報告があった。

6. 東京工業大学ホームカミングデイ2013について

岡田理事・副学長から、資料11に基づき、東京工業大学ホームカミングデイ2013を、平成25年5月26日（日）に開催することについて報告があった。

7. 大岡山石川台1号館で発生した火災について

辰巳理事・副学長及び植松副学長から、資料12-1及び12-2に基づき、平成24年11月23日に、大岡山石川台1号館で発生した火災についての報告、及び火災が続けて発生したことから、全学に注意喚起した旨の報告があった。

○ 大学運営の諸問題について

1. 大学改革について

学長から、資料13に基づき、今後の本学の大学改革の方向等について説明があった後、意見交換が行われた。

(主な意見等)

- ・ 東工大が世界トップクラスの大学と伍してやっていくためには、しっかりしたシンクタンク機能を持つことが非常に重要である。
- ・ 原子力技術についてはネガティブな意見も出ているが、人材の育成はきちんとやっていく必要があるので、東工大は原子力の安全等に関する人材の育成に力を注いでほしい。
- ・ 自らの学生生活を振り返った時に、勉強もしたけど、勉強以外のことをやりながら人格は形成されてきたように思う。大学の役割は、学生にチャンスを与える、学生自身に気付かせる、気付かせたらやれるという条件整備をすることだと思うので、勉強漬けにするのではなく、東工大の独自性を出して勉強以外の別の仕掛けを作り、将来地に足をついた活動ができるタフな学生を育ててほしい。
- ・ 政府が重点研究分野を示して、そこにかかなりの資金を投入しているが、これ以外にも大事な研究分野があるので、大学として大事だと思われるところを学長のリーダーシップを持って育てていただきたい。
- ・ 世界トップテンに入るリサーチユニバーシティを目指すという、明確な目標を持って進むことは非常に重要なことである。ただ、国立大学法人には制度的にも経費的にも様々な制約があり、MITやCal Techなどのグローバルな大学の経営手法を真似することは難しいと思うので、そこは知恵を絞って是非頑張ってください。
- ・ 理工系大学としての強みはもちろんあるが、逆に弱みとして見られる部分もあると思うので、他大学との連携や大学院における教養教育を充実することにより、弱みを補完するような教育を行ってほしい。

○ その他

1. 次回開催について

学長から、今回は、平成25年3月19日（火）13：15から事務局1号館2階会議室において開催する旨の案内があった。

以上